

道徳通信

No.1

令和8年 7月14日

安田中学校

1学期がもうすぐ終了します。全校生徒40人でさまざまな活動に取り組んできました。そんな中、上級生が優しく下級生をリードする姿がよく見られました。

道徳の授業では、教材を通して自分とは異なる感じ方や考え方に触れることも多かったと思います。皆さんは学校や家庭における日々の生活のなかで、「自分自身」、「人との関わり」、「集団や社会」、「生命や自然、崇高なもの」に関わりながら、そこにあることを見つめ、自分はどうすべきか、どうすることができるかなどを考えながら少しずつ成長しています。

来学期は、体育大会や音楽会など全校で取り組む行事があります。安田中学校の「個人」として、「集団」としてさらに高まっていくことを期待しています。

夏休みは、生活リズムに気を付けて、計画的に過ごすようにしましょう。

「1学期を振り返って」 ～ 各学年の道徳授業（教材名） ～

1年	2年	3年
・小さな勇氣 ・バスと赤ちゃん ・おかしな礼儀 ・挑戦することに、生きる一羽生結弦 ・ヨシト ・ある日のバッテリーボックス ・魚の涙 ・裏庭での出来事 ・目標は小刻みに	・自分の人生って ・第二の水泳人生ー池江璃花子 ・マイ・フェイバリット・ロード ・ジョイス ・あなたの「生きようとする力」 ・君、想像したことある？ ・消えない落書き ・闇の中の炎 ・樹齢七千年の杉ー屋久島 ・いつでも・どこでも・SNS ・ほどほどライン ・相馬野馬追の季節	・自分と向き合う ・夢へのステッパー大谷翔平 ・小浜のさば缶、宇宙へ行く ・おひだまり ・十五分後の奇跡 ・挨拶の力 ・ライバル ・卒業文集最後の二行 ・君たちはどう考え、どう生きるか ・六万円のご縁 ・監督がくれたメダル ・目の見えない白鳥さんとアートを見に行く

「高知の偉人について知ろう①」～「田内千鶴子」 冊子『高知の道徳』より～

冊子『高知の道徳』で紹介されている高知の偉人について知ることを通して、少しでも高知への関心を高め、お家の人と会話する機会になるように全学年で取り組んでいます。みなさんの感想とご家族からの「一言感想」を読んで、さまざまな捉え方に触れてみてください。

【生徒の感想】＊一部抜粋

・「田内千鶴子」という名前を初めて知り、韓国で園の子や夫のために園を守り続けた人であることが分かった。

・国が違って、子どもを育てるために、共生園を運営したのは、すごい勇氣だと思った。自分も国が違って平等に接せられる優しい人のなりたかった。

・人のために行動することはとても難しいことなのに、何十年の間孤児を育てていたので、カッコいい人だと思った。自分が生き延びていくのも大変なのに、食べ物を探し、途中であきらめることなくやり通すところから、心が強く、信念を貫いている人だと思った。

・生きた時代や活躍した場所が違って「人を助けたい」という気持ちは変わらないと思った。外国人と関わる機会が今はALTの先生以外ないけれど、田内さんのことを知って、もっと他の外国人と関わって困っている人がいたらその都度助けていきたいと思った。

・大変な人生の中でも多くの孤児を助けていたことは素晴らしいと思った。国が違って助けようとしていたところに優しさや強さを感じた。また、日本と韓国をつなげるために努力していたことから、

人とのつながりや思いやりはとても大切だと思った。

・帰らぬ夫を待ち続けることは心も体も限界だったと思うが、「あの人が帰ってくるまで園を守る」と言って守り続けたことに感心した。自分も苦しいと思うのに、人のために頑張りを続けた姿は子供から見て尊敬できる人だったと思うので、自分も誰から見ても尊敬されるような人になりたいと思う。

・夫婦二人で50人ほどの子供を育てること、一人になっても毎朝リヤカーを引いて食料を探していたことから、千鶴子さんは本当に気持ちが強い人だと思った。高知市若松町の記念碑を機会があったら見に訪れてみたい。

・夫が帰ってくるまで園を守るという意志を貫き、「苦労は子供たちがしたと」世の中に伝える謙虚な人だと思った。

・千鶴子さんのような心を持って生活していきたい。そして、こういう人が高知生まれであることを知って誇りに思った。

・韓国で孤児救済のために生涯をかけ、たくさんの人から愛され、尊敬され、慕われている人だということが分かった。自分も田内さんのように色々な人を支えられるようにがんばり、努力し続けたい。

・自分なら、たった24才で50人ほどの子供を育てるのはできないと思うので素晴らしいと思った。

・千鶴子さんが日本ではなく韓国の子どもを守るという行動にびっくりした。心の器が大きくて、とても優しく、誰でも愛することができた人物だったことが分かった。

・24歳のときに木浦共生園に出会い、3000人もの孤児救済のために生涯をかけたということが分かって驚いた。愛する人の行方が分からないままだと不安になると思うし、一人で園を守るとなると労働力が必要だと思うので、千鶴子さんを尊敬する。自分も、どんな場面に遭遇しても対応しながら最後まで全うすることを大切にしたい。

・結婚をして二人で恵まれない子たちのために活動していることに加え、朝鮮戦争の中、一人で世話をしていたのはすごい。

・戦争の中、どんな日でも食料を探し、子供を守り、園を守っていた。その努力で千鶴子さんは政府から文化勲章を贈られ、韓国と日本を結ぶ架け橋となっているのを知ることができた。

・田内千鶴子さんのことを知らなかったけど、今回、日本と韓国をつないだ人だと分かった。そんな人が高知出身だと知ってびっくりした。優しく、責任感の強い人だと思った。自分も自分の行動には最後まできちんと責任を持ちたいと思った。

・恵まれない子どもたちのために生涯をかけて共生園を守り抜いた千鶴子さんは、自分にはとてもできないことを成し遂げていて素晴らしい方だと思った。田内さんのようにはいかなくとも、他の人を思いやることを大切にしたい。

・子どもたちのために、雨の日も風の日もリヤカーを引くのは大変だと思うのに、それをやったからすてきで優しい人だと思った。

・大変な中立ち向かっていたので、とてもカッコいい人だと思った。

・田内千鶴子さんのように、優しく人のことを考えられる人になりたい。

・「苦労は子どもたちがしました」という言葉から本当に子どもたちのことを思って行動してきたんだと思った。自分第一の考え方ではなく、相手のため、愛する人のために優しい行動ができる人になりたい。そして、そんな大人の姿や行動を見た子供が優しい行動をして、良い連鎖になるような社会を目指していきたいと思う。

・自分なら田内さんのようなことはできないから、やってみようとは思わないけど、そんな人を見かけたら応援しようと思う。

・高知県に「田内千鶴子」さんという強い女性がいて、その人は人の命を見捨てず最後までがんばったことが分かった。自分も中学校生活で、あきらめない強い人になりたい。

・田内千鶴子さんは人を大切に、一人ひとりに平等に接することができる人だと思う。

・貧しい韓国の子供たちを一生懸命世話をしてすごく優しくて子供思いな人だと思った。また、子供ために一生懸命食料を探していた、その心に感動した。千鶴子さんにこのような心があったからこそ「愛のふる里」と書かれている記念碑が立ち、日本と韓国を結ぶ架け橋となっていることが分かった。

【家族の一言感想】

・聞いたことはあったが、どういうことをしたかは知らなかった。「優しい人やね」(と言っていた)。

・昭和二十五年、朝鮮戦争中、自分たちが生きのびていくのに精いっぱいの中、恵まれない子供達の食べる物を探し、懸命に生きた素晴らしい方だと思いました。自分を過信せず、最後まで美しく信念の強い方だったのだと思います。

・日本人、外国人関係なく、困っている人がいたら助けてあげられる人になってください。

・父親が朝鮮総監督府役人とはいえ、高知で生まれた千鶴子さんが7歳で韓国に渡り、結婚するまでの17年間でどんな環境の中、親の姿を見てきたのか、「子どもたちを守ることが与えられた運命」「夫が帰ってくるまで園を守る」と強い意志を持って孤児救済のために生涯をかけた千鶴子さんの人類愛はどこから生まれたのかとても興味深く「愛の黙示録」という映画を見てみたい、もっと田内さんのことが知りたいと思った。

・田内千鶴子さんという人を知らなかった。これからいろいろな高知の人を知っていきたい。

・高い志を持つ女性だな、と感じました。我が子でさえ育てるのは大変なのに、一生懸命たくさんの子供たちを育て上げた千鶴子さん。それだけでなく韓日友好の絆を深めてくれました。名前しか知らなかったので勉強になりました。機会があれば、子供と記念碑を訪れてみたいと思います。

・どうしましょ。(子どもと)お話しておりません。が!! 私はこの方を知りません。ですが、子どもの文を読みとてもすごい人なのだと思いました。私も子供達のためにできることは全力でしてあげようと思いました。

・本当にできた人は謙虚なもの。

・千鶴子さんの記念碑の前を、これまでに何度も通ったことがあり、名前は存じておりましたがどのような事をされていた方なのかまでは知りませんでした。戦争によって何もかも不便な時代、一人で生きていくだけでも過酷なはずなのに、その状況にあっても多くの人々に愛情を注ぎ続けられる。これが本当の「愛」なんだと考えさせられました。

・国境を越えて人を助けた素晴らしい人。

・名前は聞いたことがあったが、どういう人物なのかは今回知った。

・田内千鶴子さんのことを初めて知って、とても優しい人だと思いました。自分の国だけではなく、困っている子どもたちのために行動していてすごいと思いました。

・国、時代に関係なく実際に行動されていたことがすばらしい。たくさんの人、心が救われた！

・約3千人も孤児がいた事に、戦争の恐ろしさをあらためて感じた。田内さんのおかげで、日本と韓国の関係性も友好につながっていることを知れた。高知の方が国と国をつなぐ重要な役割を果たしたことは県民としても誇りに思う。

・子どもたちのために生涯をかけて活動し、子どもたちに愛情を注いで育ててきたその強さと優しさは本当に素晴らしいと思います。

・過酷な状況下での孤児救済。リヤカーでの食料集め。文化勲章の受賞。日韓友好の懸け橋。土佐人の「困っている人を放っておけない気質」を象徴する存在に思えました。

・だんなさんと2人で大変なご苦勞をされていたと思うのに「夫が帰ってくるまで」と思って園を守ってきただけ。苦勞は子どもたちがしました」と答える千鶴子さんは、高知のはちきんナンバーワンだと思いました。

・韓日をつなぐ偉大な方。

・田内さんがやったことが、今でも大切に思われていることが分かった。

・苦勞もあり、大変な中、子供たちのために素晴らしい人物だと思いました。

・高知出身であったのにもかかわらず、田内千鶴子さんという人物を知らなかった。自分自身の子どもでもないのに、子ども(孤児)の生活を守る為に働いていて、母親としての心の広さがあるなと思った。素晴らしい女性だと思います。

・知らないことを知ることができてよかったです。機会があれば、もっと詳しく学びたいと思いました。

・へーそうながや(って言っていました)。

・「木浦の母」という題名で高知新聞に掲載されていました。それを興味深く読んでいたのでよく覚えています。

・木浦の母ということは知っていたけど、結婚した人が孤児院をしていて、その後行方不明になった等は知りませんでした。日本と韓国の懸け橋として欠かせない人物だったと思いました。

・大変な時代を生きる中でも、子どもたちを守るために一生懸命な田内さんの行動に子どもたちへの深い愛情を感じます。人との関わりの中で最も大切な事を伝えてくれた方だと思いましたし、私たち親子の関係にも重なるところがあると思います。田内さんのような心を持てる人に成長していきたいし、していってほしいと思います。

・いつもは新聞記事を一緒に読むことが無いので、よい機会になりました。

・高知にこのような偉大な方がいる事を私も初めて知りました。自分の生活も大変なのに、子供たちの為に尽力されたことがすごいと思いました。高知のたくさんの人を知って欲しい人物だと思いました。

・高知県でこんなすごいことをした人がいたとは知らなかった。

・自分の子供を守るだけでも大変なことです。千鶴子さんの深い愛情とあきらめない強さを、高知の女性として見習いたいです。

・悲しい話やね(って言っていました)。

・国境を越えて、韓国の孤児を育て上げた田内千鶴子さんの人間性と信念に人間としての素晴らしさを感じました。

・自分のことよりも子供達のことを優先して沢山の子供を守って立派だと思います。誰でも真似できることではないと思います。田内さんみたいな気持ちを持った人がもっと沢山増えてほしいです。

・子どもの感想を読んで思ったことを書きます。まず、すごくしっかりと感想、思い、日韓の友好関係について書いていたことに驚きました。3千人の孤児を助けるということはそんなに簡単なことではないと思います。とてもすごいことだと思いました。今でもこんな人がたくさんいると、平和な世の中になるのかなあと感じたことでした。

・千鶴子の愛が分かりました。国として、政治として韓国と対立している部分がある一方で、一人の女性が韓国の地で感謝され、記念碑が立てられ、驚き、心に響きました。

・知らない人物でしたので、子供に話を聞いて素晴らしい人もいるのだなあ感じました。なかなかできることではないですね。

・困っている子どもを助け続けた行動そのものは、尊敬される理由がある人物だと感じました。。

☆☆ たくさんのご感想をありがとうございました。来学期もご協力をよろしくお願いします。 ☆☆